

第1回和光市図書館協議会会議要録	
日 時	令和3年7月15日（木）15時30分～17時00分
場 所	和光市図書館 会議室
出席者	（委員長）泉 峰子 （副委員長）柳下 昇
委 員	土井 純子 高田 桃子 柳下 和弘 春日 淑子 石川 敬史 小熊 尋子
事務局	館長 小林 理恵 主査 河野 育雄 主査 清水 将周 主査 舟越 るい
欠 席	橋詰 静子 山田 杉子
傍聴者	0 人
	1 諮問 2 議事 (1) 「新型コロナウイルス感染症に伴う図書館の対応について」 (2) 第2次和光市図書館サービス計画（令和2年度）取組状況及び評価について 3 その他 泉委員長 それでは議事（1）新型コロナウイルス感染症に伴う図書館の対応について説明をお願いします。 事務局 <u>新型コロナウイルス感染症に伴う図書館の対応について説明</u> 泉委員長 質問やご意見などありますでしょうか。 一同 なし 泉委員長 それでは議事（2）第2次和光市図書館サービス計画（令和2年度）の取組状況及び評価について説明をお願いします。 事務局 <u>基本施策Ⅰ</u> 和光市らしさを意識した図書館へ <u>施策1 図書資料等の収集・保存について説明</u> 小熊委員 リクエストの量と内容について教えてください。また、ビジネス書など専門性の高い分野の選書について教えてください。 事務局 リクエスト件数に関しては資料5の和光の教育（抜粋）をご覧ください。年

	度ごとの推移を見ますと、令和２年度は令和元年度より減っております。
小熊委員	リクエストの一般書と児童書の割合を教えてください。
事務局	リクエストは一般書が多いです。和光市図書館に所蔵のない資料もリクエストをすることができるのですが、コロナ後は、図書館に所蔵のない資料のリクエストが増えました。購入するか、もしくは他の図書館から借りて提供するかということは選書会議で決めています。専門書のリクエストも増えています。
小熊委員	専門書もリクエストを踏まえて購入していただけるのでしょうか。
事務局	専門性が高い資料は、予算と和光市図書館の規模を考えると難しいことが多く、他の規模が大きい図書館から借りているというのが現状です。
小熊委員	専門書が少ないという話を身近なところで聞いたことがあります。大人の利用者を増やすという観点から、専門書の購入を検討していただけると良いと思います。
事務局	時間は少しかかってしまいましたが、埼玉県内の図書館から取り寄せることができるので、その点を周知していきたいと考えています。また、各分類の棚担当がおり、ビジネス書も担当の職員がいます。日々、新刊情報に目を通して選書するほか、担当以外の職員も必要な本を選書して購入に努めています。
小熊委員	分かりました。
泉委員長	評価はいかがでしょうか。【概ね適切である】と思いますがいかがでしょうか。
一同	はい。
泉委員長	コメントは小熊委員のコメントを入れ、ビジネス書など専門書の収集を検討するでよろしいでしょうか。
一同	はい。
	<u>施策２ 視聴覚資料の充実</u> について説明
石川委員	よみうり回想サロンについて、とても面白い取り組みだと思います。 質問ですが、ナクソスミュージックライブラリーのログイン回数が導入時に

	比べると伸び悩んでいると思います。コロナ禍において、モノを使わないネット配信は重要だと考えますが、利用が減っている背景をいかがお考えでしょうか。
事務局	コロナ禍における休館期間中は、来館しなくても電話でＩＤを発行するなど対応しましたが、周知が行き届かず利用に繋がりませんでした。一度利用してみると良いサービスだということが分かるので、はじめの利用に繋がる周知が必要だと考えます。
石川委員	ナクソスのログイン回数の目標値が今回、修正されています。こちらは修正値を採用するか、当初の目標値を採用するか検討する必要があると思います。
事務局	はい。
事務局	ナクソスについて、導入時は反響がありましたが、YouTubeなどに移行していることも減少の要因だと考えられます。
事務局	現在、ナクソスから毎月配信されている月刊クラシック通信をTwitterに掲載するなど周知はしております。
石川委員	ナクソスなどインターネット上のサービスは、所蔵している資料との組み合わせで紹介すると生きてくると思います。
泉委員長	ナクソスについて教えてください。
事務局	パソコンから音楽を聴くことができます。スマートフォンからは利用できません。
泉委員長	そこに原因があるのかもしれませんが。アップルミュージックなどはスマートフォンからも利用できますよね。ナクソスもできれば良いのですが…。評価ですが、【概ね適切である】でよろしいでしょうか。コメントは、ナクソスの周知とログイン回数の促進及び広報の充実でお願いできればと思います。
一同	はい。
	<u>施策３ 郷土・行政資料の収集・保存</u>について説明
泉委員長	何か質問やご意見はありますでしょうか。 郷土資料に力を入れていただいていますね。【適切である】でよろしいでしょうか。

一同	はい。 基本施策Ⅱ みんなが利用しやすい図書館へ 施策1 乳幼児、小学生へのサービスの充実について説明
土井委員	新倉小学校は下新倉分館に見学に行かせていただきました。以前は学年単位で見学に行っていましたが、コロナ禍ということで、昨年度はクラス単位で訪問しました。図書館の中では、さらにクラスの半分を見学に、残りの半分以上を紙芝居に、と少人数で丁寧に対応してくださいましたので、子どもたちは図書館を身近に感じることができました。今年度もぜひまたお願いします。団体本では、各クラス100冊の本を貸してくださいました。校長会では、本の消毒はどうするのかなど、借りること自体に対する意見もありましたが、小学校では貸出はありがたく思っています。今後も、できる範囲でお願いします。
泉委員長	コロナ禍ですが、色々に対応してくださっていると思います。評価は適切であるでよいでしょうか。
一同	はい。 施策2 中学生および高校生へのサービスの充実について説明
泉委員長	こちらが【適切である】で良いのでしょうか。引き続き対応をしていただければと思います。
一同	はい。 施策3 成人へのサービスの充実について説明
泉委員長	ビジネス支援関連講座ですが、公共図書館として指標に立てるようなレベルの講座を開催することは難しいような気がします。テーマ展示やパスファインダーの作成など、図書館でできることを数値指標にして力を入れるのはいかがでしょうか。講座を開くことに要する労力と参加者の満足度が釣り合わない気がします。
柳下副委員長	ビジネス専門講座となると講師の選定や、利用者のニーズを考える必要がありますし、参加者数が少なければ満足度も低くなってしまいますね。
泉委員長	今後、こちらの数値目標をなくすのはいかがでしょうか。

小熊委員	2018年に実績があるようですが、どのような講座を開催されたのでしょうか。
事務局	読売新聞のデータベースであるヨミダス歴史館の利用方法や活用方法について、講座を開催しました。
泉委員長	ビジネス支援講座と冠するには弱いのかもかもしれませんね。
柳下副委員長	商工会とタイアップすれば地元の方のビジネスを支援できるのかもかもしれませんが、準備などを考えると難しいのかもかもしれませんね。
泉委員長	ホームページでパスファインダーを公開したり、Twitterなどを活用して、受けたレファレンスを投稿するのはいかがでしょうか。広報などに取り上げていただくと来館につながるかも知れません。現役世代は来館する時間がないと思うので、インターネットを活用して情報を発信するのがよいと思います。
柳下副委員長	講座を開催するのではなく、情報を提供するということですね。
泉委員長	評価は【概ね適切】であるとして、今のご意見をコメントとして良いでしょうか。
一同	はい。
	<u>施策4 障害者・高齢者へのサービスの充実</u> について説明
高田委員	ニーズ調査を行うと同時に図書館で利用できるサービスを障害者へもっと周知していただきたい。例えば、大活字本などかなり所蔵していて書架では存在感があるが、利用しようという方に周知しないと利用につながらないのかなと思います。
柳下委員	大活字本とLLブックは何冊所蔵していますか。
事務局	大活字本は2,552冊、LLブックは21点所蔵しております。
泉委員長	LLブックとは何ですか。
事務局	障害をお持ちの方にわかりやすく書かれている本です。館内のりんごの棚にありますのでご覧ください。

高田委員	帰りに見てみます。
柳下委員	障害を持った利用者はどのくらいいらっしゃいますか。
事務局	こちらの数値指標の登録人数とは、障がい者サービスとして郵送貸出や対面朗読を行っている方個人の人数となります。そのため実際に図書館を利用されている障害者でこの登録人数に挙がってこない方もいると思います。
柳下委員	施設としての利用もありますか。
事務局	はい。下新倉分館では老人施設の方の利用がありましたし、本館でも先日、市内の特別支援学校の生徒が見学に来館されました。放課後デイサービスなどの施設も、定期的に利用されています。
柳下委員	分かりました。
泉委員長	ニーズ調査ですが、今後、どのような調査を予定されていますか。
事務局	市役所が行う、障害者を対象としたアンケートに図書館の設問を載せていただく予定でしたが、難しいということで実現には至りませんでした。改めて市役所の担当課と調整して行うことになると思います。
泉委員長	施設の利用もあるという話でしたので、施設宛に、どのような需要があるのか聞いたり、郵送貸出などの案内を送るのはいかがでしょうか。登録人数以上の需要はあると思います。アンケートを個々人に送付するよりも早いかもしれません。
事務局	はい。先日、特別支援学校が来館されたときに、先生方は郵送貸出に興味がありましたので案内をお渡ししました。今後は、来館されたときだけでなく、こちらからも発信していきたいと思います。
泉委員長	分かりました。【概ね適切である】で今の意見をコメントとしてよろしいでしょうか。
一同	はい。
	<u>施策5 外国人へのサービスの充実</u> について説明
泉委員長	外国人向けサービスとは関係がないかもしれませんが、TwitterとYouTubeを開設されたのですよね。

事務局	はい。ただ、外国人向けに活用はまだしておりません。
柳下委員	子ども向けの外国語の絵本などは所蔵していますか。利用はあるのでしょうか。
事務局	はい。所蔵しており、貸出もあります。今月、児童書のテーマ展示で日本語の絵本と外国語の絵本をセットにして展示しています。
泉委員長	こちらは【概ね適切である】でよろしいでしょうか。
一同	はい。
	基本施策Ⅲ 居心地の良い図書館へ 施策 1 公共施設等と連携したサービスの提供について説明
泉委員長	庁内業務支援サービスは8件ということですが、依頼は固定していて毎年、同じ内容なのでしょうか。
事務局	はい。例年、同じ課から依頼があります。
泉委員長	市役所の中では、図書館に依頼することが広まっているのでしょうか。評価ですが、【適切である】でよろしいでしょうか。
一同	はい。
	施策 2 地域、ボランティアとの連携について説明
泉委員長	ひとハコ図書館の設置数の目標値について、変えた方がよいのではないのでしょうか。
事務局	はい。
石川委員	図書館ボランティアの登録人数や図書館サポーターの図書館事業への参加人数の目標値について、コロナ禍で活動が難しい面があると思いますが、つながりを維持するということが必要になると思います。図書館の活動に力を貸していただける方々ですので、普段の活動とは異なる活動なども長い目で見ると必要になってくると思います。
事務局	はい。

泉委員長	今の石川先生のコメントについてですが、オンラインでウェビナーなどミーティングの機会を持つのはいかがでしょうか。ボランティアのおひとりにスポットをあてて話を聞くなども面白いと思います。登録者が126人ということですので、全員ご案内することも可能だと思います。ボランティアをやっていてよかったと思うのではないのでしょうか。
小熊委員	これまでの施策のなかで、いろいろな周知が課題という話があったので、ボランティアにSNSなどで拡散していただくのも良いと思います。図書館で活動できない中で、そのような形で活動することもできると思います。
事務局	分かりました。
	<u>施策3 コミュニティ情報等の収集・整理・保存・発信について説明</u>
泉委員長	昨年コメントにあります、デジタル情報の収集については何か取組みをされましたでしょうか。
事務局	こちらについては取組みができていません。
泉委員長	評価は【概ね適切である】でよろしいでしょうか。コメントは引き続きお願いします。
一同	はい。
	<u>施策4 図書館施設等の保全について説明</u>
泉委員長	新館建設の見通しは、たたないのでしょうか。長期計画でもかまいません。答申を経てコメントはいかがでしたでしょうか。
事務局	コメントはありましたが、その後、市長が代わりましたので、引き継がれる政策と引き継がれない政策があると思います。
柳下副委員長	いろいろと図書館のアピールをするのがよいですね。他市の図書館と比べると和光市の図書館は規模が小さいことを知っていただくことも良いと思います。
事務局	新市長は既に本館も分館も見学に来られました。
泉委員長	評価ですが、もう一度【不十分である】にして、長期の観点からみた新館建設について必要性を訴え続けたいと思います。

土井委員	図書館サービス計画にこれだけ施策があって、いろいろな活動をやり続けてさらに広げていくためにも新しい施設を、とアピールすることは良いと思います。
一同	はい。
泉委員長	引き続き新館建設について検討を始める必要があるという答申を再度、出したいと思います。
石川委員	新館建設も重要ですが、自治体職員として図書館司書を採用していくことも重要だと考えています。児童サービスや、障害者サービスを担えるような人を育てることも加味してほしいと思います。
泉委員長	立派な新館が建設されても、貴重な郷土資料が廃棄されてしまったという話もありますよね。
石川委員	社会教育法に基づく教育機関としての図書館を持続的に運営することが大切だと思います。
事務局	和光市では保育士や社会福祉士など、業務に必要な資格を持つ職員は採用しています。司書に関しては図書館協議会で答申していただければ、すぐには変わらないかもしれませんが、少しずつ変わっていくのかもしれませんが。
泉委員長	3－6のコメントとさせていただければと思います。
小熊委員	本の消毒器について、取組内容・状況に記載があればよいと思います。
事務局	はい。
泉委員長	評価は【不十分である】でよいでしょうか。
一同	はい。
	<u>施策5 電子図書館の推進</u> について説明
泉委員長	評価は【概ね適切である】でよいでしょうか。
一同	はい。

	<u>施策6 図書館の効率的・効果的運営及び職員の資質の向上について説明</u>
小熊委員	職員が皆さん司書資格を持っているので、司書ができることを中高生にもわかるように掲示するなどアピールしても良いのではないのでしょうか。貸出をしているだけだと思われる利用者もいると思います。名札にひとりひとりの専門分野など入れると面白いのではないのでしょうか。夏休みに子ども向けの司書体験があると聞きましたので、興味がある人も多いと思います。
事務局	和光市図書館は、正規職員と会計年度任用職員がいます。会計年度任用職員は司書資格のある方を採用していますが、正規職員は市役所との人事異動がありますので全員は司書資格を持っていません。
土井委員	学校図書館アドバイザーはとても熱心で、学校図書館を多く任せています。予算が少なく、出勤日数が少ないのが課題となっています。図書館アドバイザーは司書資格がある方とない方がいて、学校によって異なります。その中で、図書館が開催する研修はとてもありがたく、学んだことをすぐに実践するなど良い刺激になっているので、ぜひこれからも色々なテーマで開催をお願いします。
事務局	埼玉県内の図書館の正規司書の採用状況はいかがでしょうか。あまりないのでしょうか。
石川委員	埼玉県内は川口市や三芳町でしょうか。県外だと日野や調布でしょうか。
泉委員長	他の自治体はないのでしょうか。
石川委員	ないです。図書館運営を長い目で見ると重要だと思うのですが…。
柳下副委員長	図書館全体の正規職員の人数を増やしていくことも重要だと思います。司書としての採用はないですが、図書館職員の人数が増えれば、その中で司書等の専門職の割合が増えるのではないのでしょうか。
泉委員長	職員が司書資格を取ることを支援する制度はないのでしょうか。
事務局	現状はありません。(国家資格取得後の手当制度はあり)
泉委員長	資格取得を支援することをコメントとして出すのはいかがでしょうか。また、司書がどのようなことをしているのか利用者にアピールすることもコメントに入れて下さい。

事務局	はい。
泉委員長	評価は【おおむね適切である】でよいでしょうか。会計年度任用職員については維持していただければと思います。
一同	はい。